

「代執行」で着工、無理に無理を重ねる辺野古新基地建設

10・14津、10・13名古屋、10・12静岡で北上田氏講演会

10月12日から14日にかけて、東海地方の各県で、沖繩平和市民連絡会の北上田賢さんを迎え、連続講演会が行なわれた。大浦湾での工事進行状況、入っている辺野古新基地建設工事の現状を知り、東海地方から反対運動を強化するためにあつた。

10日静岡市、13日名古屋、14日三重津市での講演会では、約40名、約80名、約150名の市民の参加が盛況だった。

津市の工場大のハイブリッド・ケーソンが製造されて沖繩に運ばれる計画がすめられていること、主にケーソンをめぐって話を中心にお話を聞いた。

ハイブリッド(HB)ケーソンとは長さ25m、高さ18m、奥行き15mの巨大な鉄筋コンクリート製の箱で、大浦湾側の一番深いところの1.3m(沖繩県内)で造る。小型のRCケーソンとともに並べられ、その中に土砂を埋め込み、其地の崖壁を設計図でいうC1、C2、C3護岸、C1護岸にB7地点がある。C1護岸にB7地点がある。C1護岸にB7地点がある。C1護岸にB7地点がある。

そのHBケーソンが地元でつくられるというので、新聞報道された。2015年春から、二重

▼工事困難の現況

辺野古新基地建設の全体の現況については、今回の北上田さんの詳細な報告によって、概要以下のことになった。

①国交相が昨年未、設け承認を代行執行して、大浦湾側の工事が始まったが、防衛局による1月10日の海上ヤード着工、8月20日の本体工事着工(A護岸での鋼管矢板打ち込みも、沖繩県の行政指導を無視した違法工事である。

A護岸着工では、埋立承認の際の留意事項(19年12月27日)で「一実施設計・環境保全対策の事前協議を、双方的に打ち切っており、海上ヤード工事については、防衛局は協議の対象外として、事前協議がなされるもなされなされていない。

②強行に工事を開始した。大浦湾側の工事も、美加川切替工事も実際に離離し、大幅に遅れている。1月から起算して「1期9年3ヶ月」など全く無理。

③今更で拒否していた

B7地点でのボーリング試験が始まった。設計見直しは必至である。

沖繩県は、防衛局の設計変更申請に対して、大浦湾側の一番深いところ(90m)まで軟弱地帯が存在している。その地点をボーリング調査せず、77mまでの地盤改良でよいとしている。申請を「不承認」を出した。この問題を構わずとした承認代行執行によって、今年1月から大浦湾側の工事を強行した。防衛局は「追加ボーリング調査は必要ない」として、今年8月の海上ヤード着工(10月20日の本体工事着工)も、沖繩県の行政指導を無視した違法工事である。

④安和棧橋出口部での痛ましい死傷事故(6月28日)は、防衛局がタンク搬送を急がせたことが原因。

沖繩県北部の安和棧橋の土砂崩壊は、5年半の抗議行動で「時照のルール」ができていたが、最近では2子出したどタンクの無理な搬送が懸念されている。事故後、土砂崩壊は止まったが、防衛局は事故の原因究明・再発防止策を説明しないまま、8月22日搬出作業再開を強行した。

⑤県、阻止し手詰まりではない、まだまだ対応策はある。

④安和棧橋出口部での痛ましい死傷事故

6月23日の地震の日に岸田首相(当時)が「県民の思いはしっかりと受け止める」と言明し、このかんの反対運動によつて、沖繩県選出を含む南浦地区からの土砂大崩壊は困難になった。

その代わりに、鹿児島県の奄美大島からの土砂搬出計画がクローズアップされている。しかし、これは沖繩県の土砂条例によって外来生物の搬入防止問題が発生し、簡単に進まないことが明らかになっている。また奄美大島の住民は現在でも、採石場による環境破壊で苦しんでいる。9月10日には、土砂崩壊(辺野古土砂搬出反対全国連絡会)と北上田さん村への要請行動が行なわれた。12日には鹿児島県塩田知事に、奄美大島の土砂搬出に反対の意思を表明する等の要請書を出した。

⑥安和棧橋出口部での痛ましい死傷事故(6月28日)は、防衛局がタンク搬送を急がせたことが原因。

沖繩県北部の安和棧橋の土砂崩壊は、5年半の抗議行動で「時照のルール」ができていたが、最近では2子出したどタンクの無理な搬送が懸念されている。事故後、土砂崩壊は止まったが、防衛局は事故の原因究明・再発防止策を説明しないまま、8月22日搬出作業再開を強行した。

⑤県、阻止し手詰まりではない、まだまだ対応策はある。

再来年(26年)春には大浦湾にケーソン置き場(明治37(38年)の建設完了)を建設する。計画通りに進めば、そのころには津市で造ったHケーソンを運び込むことが想定される。津市で造ったHケーソンを運び込むことが想定される。津市で造ったHケーソンを運び込むことが想定される。

① ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

② ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

③ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

④ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑤ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑥ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑦ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑧ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑨ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑩ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。



▲ ケーソン問題再燃! (写真は16年8月26日、JFE横浜本社前)

再来年(26年)春には大浦湾にケーソン置き場(明治37(38年)の建設完了)を建設する。計画通りに進めば、そのころには津市で造ったHケーソンを運び込むことが想定される。津市で造ったHケーソンを運び込むことが想定される。

① ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

② ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

③ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

④ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑤ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑥ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑦ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑧ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑨ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑩ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑪ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑫ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑬ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑭ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑮ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑯ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑰ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑱ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑲ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

⑳ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉑ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉒ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉓ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉔ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉕ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉖ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉗ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉘ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉙ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉚ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉛ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉜ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉝ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉞ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㉟ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊱ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊲ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊳ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊴ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊵ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊶ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊷ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊸ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊹ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊺ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊻ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊼ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊽ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊾ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

㊿ ロシアは、清国に賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。ロシアは賠償を請求する。清国は賠償を拒否した。

京都「止めよう戦争への歩み10・20反戦集会」

増設反対！祝園ミサイル弾薬庫

10月20日、京都市の円山公園野外音楽堂において午後1時30分より、野...



▲ 京都・円山野音に300余名 (10・20)

「希望は戦争」？とは、その意は集会プログラムにこころある。

持ち、大企業だけが儲かる仕組みが強化されている。白民企業問題、も...

の点で「台湾有事」を利用する日本政府の思惑と日常的に感じ取る中国から...

熊本港八代港、鹿兒島港では鹿兒島空軍基地の増設、川内港、...

小も予想される中、辺野古新基地建設強行はもう許されないと訴えられた。

第36回コミュニティ・ユニオン全国交流集会 in 大阪

差別許さず、社会を変える

10月5日(土)〜6日(日)、第36回コミュニティ・ユニオン全国交流集会が、全府から400名...

コミュニケーション・ユニオン全国ネットCUNの総会が行なわれ、年次の活動報告・活動方針案...

判決を大阪地裁・高裁、最高裁で争った。この経過を記録した映画「D・V・D」...

来年は愛媛県松山市で開催を確約し、第36回全国交流集会は終了...

総選挙勝利！「19の日」行動、衆議院選挙の只中、各地で「19の日」行動が開始...



▲ 韓国民主労働総訪日団が壇上に (10・6)

きた札幌地域労組・千歳相互バス支部からの「こ...

分のドキュメンタリー映画上映。在日の女性(フリーライターの...

この対中戦争準備の只中にありながら、その是非を争点の一つとし...

「19の日」行動、議員会館前・午後6時、政治は激動期に突入...

広がる先住民族の闘いと深まる先住権思想 ②

蝦夷地・琉球併合から海外へ膨張

VI 根強いアイヌ差別の歴史的背景

(3) 植民地国家日本への変貌

(i) 明治憲法体制の確立

不平士族の反乱が鎮圧された後、士族と豪族を中心とする国会開設運動が激しくなる。1878(明治11)年頃から、自由民権運動が全国的に仲長し、藩閥政治に反対する一部の中央官僚を引き寄せ、藩閥の主流から外れていた軍頭派、大隈重信はこれらの動きを利用して

利用する策動に出る。1881(明治14)年3月、大隈は意見書を提出し、年内の憲法制定、1883(明治16)年初頭の国会開設、イギリス流の国会開設、内閣制の採用を主張した。大隈意見書は薩長閥勢力を驚愕させる。しかし、この頃はまだ、1881年8月の開府使官有物払い下げに反対する運動がたまたま全国的に広がった時期であり、

目次

V アイヌ民族の先住権獲得を

- 1 アイヌ民族の支配、同化を推進する近代日本
 - 2 国庫増殖の目的によるアイヌ強制移住
 - 3 北海道庁の設置と北海道型植民地形成
 - 4 アイヌ民族の先住権獲得、就農制のための保護策
 - 5 アイヌ民族の闘いと歴史的文脈
 - 6 アイヌの共同財産に関する訴訟(門前訴訟)
 - 7 薩摩・大隈重信のアイヌ政策、あまてん神
 - 8 開拓使にアイヌを移住させ、先住権獲得を要求する国庫増殖策
 - 9 開拓使にアイヌを移住させ、先住権獲得を要求する国庫増殖策
 - 10 アイヌ先住権獲得の歴史的文脈
- 以上 651-660頁

伊藤の意見は、天皇の専制支配をめざすものとして注目され、これは1880(明治13)年から1881(明治14)年にかけて空前の高揚を見た自由民権運動に反対するものとみえられたのである。ひとたならぬ危機感を抱いた岩倉具視や伊藤博文は、①官有物払い下げを取り下げ、福次論者の門下生など大隈派官権を政府から追放し、②10年後に憲法を開設し、それまでに憲法を制定するという詔勅を発し、民権運動を分岐させて、急進派を鎮圧した。いわゆる「明治四年の政変」である。

明治政府の憲法制定の動きは、「1元法院における憲法の調査起草からはじまり、1876(明治9)年10月6日(明治9)年10月6日から10年(明治13)年12月までに二度草案が起草されたが採用されなかった。これは別に、一八七九年二月各議院に立憲議院に關する意見書を提出するものと命ぜられ、一八八五年五月までに山縣有朋、伊藤博文、大隈重信、三義論が意見書を提出した。これは大隈意見を除いて大半が立憲政体の実施を時期尚早として否定するものであった。1の史料目録を参照せよ。1の史料目録を参照せよ。1の史料目録を参照せよ。」

「解題」P.2「二、管轄内省の設置(1885年)といわれる。これは、以下のように示される。

(1) 皇室および天皇大権に關するもの、将来衆議院と対抗できる貴族院の基礎となる氏族令公布(1884(明治17年)7月)、天皇の最高裁機関としての皇座設置(1888(明治21)年4月)、内閣制の採用に分離し、華族の管理も含む皇室關係全般の事務を行なう宮内省の設置(1885年)

「同時に、衆議院議員選挙法と貴族院令も公布される(憲法施行は翌年11月)。

明治憲法においては、「天皇は憲法の恩賜者であり、統治権を総攬(そのらん)し、広範な大権事項を付与されている。天皇は神聖的君主であり、完全な主権を有し、たゞその施行の面で制約を受けるに過ぎない。このような天皇の超越的な地位に關しては、起原者・密議者の間に大きな対立はなかつた。」(永井秀夫著『明治憲法の制定』安用浩・源川真希編『展覧日本歴史11 明治憲法』東洋館出版、2002年、P.23)といわれる。

ちなみに、大日本帝国憲法における天皇大権を示す条文は、以下の通りである。以下の一〇一〇は、内閣に關しては、明治初めに初めて使用された。一〇二〇は、大日本帝国(一〇三〇)に對しては、明治初めに初めて使用された。

第一条 大日本帝国は、一系一統の大皇帝(これヲ統治ス)

第二条 天皇ハ神聖ニシテ尊厳ヲ有シ、これを敬ス

第三条 天皇ハ御璽ニシテ統治權ヲ總攬シ、此ノ憲法ノ範圍ニ依リテ之ヲ行フ

第四条 天皇ハ、内閣ヲ任命シ、之ヲ裁可シ、若シ是レニ同意スレバ、内閣ヲ解任ス

第五条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

第六条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

第七条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

第八条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

第九条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

第十条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

以上が、明治憲法が制定した天皇の権限の概要である。このように、明治憲法は、天皇の権限を極限まで拡大し、天皇を神聖不可侵の君主として位置づけた。

「明治憲法は、天皇の超越的な地位に關しては、起原者・密議者の間に大きな対立はなかつた。」(永井秀夫著『明治憲法の制定』安用浩・源川真希編『展覧日本歴史11 明治憲法』東洋館出版、2002年、P.23)といわれる。

ちなみに、大日本帝国憲法における天皇大権を示す条文は、以下の通りである。以下の一〇一〇は、内閣に關しては、明治初めに初めて使用された。一〇二〇は、大日本帝国(一〇三〇)に對しては、明治初めに初めて使用された。

第一条 大日本帝国は、一系一統の大皇帝(これヲ統治ス)

第二条 天皇ハ神聖ニシテ尊厳ヲ有シ、これを敬ス

第三条 天皇ハ御璽ニシテ統治權ヲ總攬シ、此ノ憲法ノ範圍ニ依リテ之ヲ行フ

第四条 天皇ハ、内閣ヲ任命シ、之ヲ裁可シ、若シ是レニ同意スレバ、内閣ヲ解任ス

第五条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

第六条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

第七条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

第八条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

第九条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

第十条 天皇ハ、大日本帝國領土ノ範圍ニ關シテ、其ノ變更ヲ命ズルヲ得

以上が、明治憲法が制定した天皇の権限の概要である。このように、明治憲法は、天皇の権限を極限まで拡大し、天皇を神聖不可侵の君主として位置づけた。